

盛り上げよう、相馬の海 ビーチフェスタ



2021ビーチフェスタ in 相馬は7月25日、原釜尾浜海水浴場で開催されました。スポーツによる相馬の復興を目的に、東京都および一般社団法人日本アスリート会議が主催。

オープニングセレモニーで立谷市長は「相馬の浜で、大いに青春を楽しんでいってください」とあいさつ。

尾浜ビーチバレーボール場では、県内の中学生38チーム125人を対象に元女子バレーボール日本代表の高橋有紀子さんと佐伯美香さんによる

ビーチバレー講習会と男女別の試合が行われ、参加者はトップアスリートからの指導を受けた後、お互いに声を掛け合いながら熱戦を繰り広げました。

また、水上イベントも併せて開催され、参加者は海上でボードに立ちパドルを漕いで進むSUP（スタンドアップパドルボード）などを楽しみました。

イベントの終了後、主催者である柳本昌一一般社団法人日本アスリート会議理事長らが東日本大震災慰霊碑と伝承鎮魂祈念館を訪れ、震災の犠牲者の追悼を行いました。



自分の言葉で力強く 少年の主張



「少年の主張」相馬大会は7月13日、市総合福祉センターで開かれ、市内4中学校の各学年の代表生徒12人が自らの意見を発表しました。

中学生が日常生活で感じていることや考えていることなどを自分自身の言葉でまとめ発表することで、中学生への理解や関心を深めてもらうことを目的とし、今年で43回目。

部活動などの学校生活を中心としたテーマからコロナ禍での諸問題、インターネット利用やLGBTなどの社会的なテーマまで、発表者は力強く意見を述べていました。

寄付ありがとう アルプスアルパイン(株)



課課長は7月16日、市役所を訪れ、立谷市長に寄付金を手渡しました。

同社は、長年にわたり相馬野馬追に参加していた経緯から、今年は寄付という形で相馬野馬追を支援。

寄付金を受け取った立谷市長は「ありがとうございます。途絶えることなく相馬野馬追を継承してこられたのは皆さんのご協力のおかげです」と感謝の言葉を述べました。

アルプスアルパイン株式会社の小林宏彰総務部角田総務

寄付ありがとう

東北学院同窓会相馬支部の遠藤正一支部長ら5人は7月16日、市役所を訪れ、立谷市長に寄付金を手渡しました。

東北学院同窓会相馬支部は市内で設立60周年記念事業を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、記念式典などの開催を中止し、寄付金の贈呈のみ行うことを決定。

目録を受け取った立谷市長は「寄付ありがとうございます。東北学院大学は本自治体にも多くの人材を輩出いた

東北学院同窓会

いており、本当にありがたいです」と謝辞を述べました。



地震や津波から命を守る 中二小避難訓練



中村第二小学校の避難訓練は7月16日、同小学校の児童380人を対象に行われました。訓練は地震と大津波警報を想定して行われ、児童らは地震発生の際に放送が流れたあと、教師の指示に従って机の下に避難しました。

当日は、保護者引き渡し訓練が併せて行われ、児童らは迎えに来た保護者と一緒に防災への意識を高めました。

寄贈ありがとう 台湾からマスクの贈り物

台北駐日経済文化代表処の蔡明耀副代表と中華民國歯科医師会の廣内世英会務顧問らは7月29日、馬場野山田地区住宅団地を訪れ、同団地の住民にマスクの寄贈を行いました。

同寄贈は、中華民國歯科医師会（台湾）が、日本からの新型コロナウイルス提供の返しとしてマスクの寄贈を計画し、寄贈先の相談を受けた廣内会務顧問らが、東日本大震災からの復興が進む本市への寄贈を提案したことから実現したものです。

廣内会務顧問からマスクを



受け取った住民らは、早速マスクを着用し感謝の気持ちを表していました。

叙位・叙勲伝達式 遠藤功一さん



叙位・叙勲伝達式は7月20日、市役所で行われ、瑞宝双光章の荣誉に輝いた遠藤功一さんの遺族に位記および勲記勲章が手渡されました。

遠藤さんは38年間にわたり学校教育に尽力し、市内の小中学校校長を歴任。

在職中は特に養護教育に力を注ぎ、退職後は経験を活かした指導で後任の育成や教育の発展に貢献しました。

式で福地憲司教育長があいさつし、遺族を代表して弟の遠藤忠芳さんが「兄のことを誇りに思っています。残された私たちも兄の思いを守っていききたい」と謝辞を述べました。

侍ジャパンに感動 東京2020オリンピック野球始球式

東京2020オリンピック野球競技の始球式報告は7月29日、市役所で行われ、實佑真さん（中村一中3年）が立谷市長に報告しました。

實さんは、東日本大震災で被災した相双地区の中学生を代表して、7月28日に福島あづま球場で行われた開幕戦（日本対ドミニカ共和国）で始球式に登板。



實さんは同始球式で使用したユニフォームなどを持参し、「緊張しましたが、グラウンドに入り、憧れの選手を間近で見ることができて感動しました」と登板を振り返り、感想を述べました。

夏の防犯パトロール



夏の防犯パトロール出発式は8月4日、市民会館駐車場

市西部地区防犯協会

で行われ、関係者25人が出席しました。

同協会は、中村西部1区から12区の居住者で構成され、犯罪のない明るい社会づくりを目的に青少年の非行防止や防犯の活動を行っています。

式で阿部勝弘副市長は「防犯意識を高める良いきっかけとなりますので、協力お願いします」とあいさつし、協会の会員らは3班に分かれて、田町通りや駅前などへ防犯パトロールに出発しました。

親子で干潟の生き物を観察 松川浦自然教室



松川浦自然教室現地観察会は8月7日、松川浦鵜ノ尾埼灯台付近の干潟で開催され、市内外から約25人の親子が参加しました。

子どもたちに松川浦の自然や文化に触れてもらいながら、自然環境保全の大切さを知ってもらうことを目的に開催され、NPO法人松川浦ふれあいサポートの主催。

参加した子どもたちは、講師の鈴木孝男みちのくベントス研究所所長らの説明を受けながら、楽しそうに干潟を掘り返しカニやエビなどを手に取って観察しました。

鈴木所長は「松川浦に生息するたくさん生き物が豊かな海を育んでいるので、みんなでこの干潟を大切にしていきたいしよう」と話し、子どもたちは熱心に話を聞いていました。

和のおもてなしふれあいお茶会

社会を明るくする運動「ふれあいお茶会」は7月17日、振興ビル1階ロビーで行われ、約100人の市民らが訪れました。

同イベントは、振興ビルに来た方にくつろいでいただくことを目的に、保護司会相馬支部の主催。

参加者は、簡単な作法を学びながら、お茶やお菓子を楽しみました。



米などを贈呈 市玉ノ井部屋後援会



市玉ノ井部屋後援会などによる大相撲玉ノ井部屋への物資等贈呈式は8月6日、千客万来館で行われ、玉ノ井太祐親方や玉ノ井部屋相馬市後援会の関係者約10人が出席しました。

同後援会は、大相撲玉ノ井部屋の夏合宿が新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために中止となったことから、総会において相馬夏合宿に代わる支援物資を贈呈することを決定。

当日は、立谷一郎同後援会長から玉ノ井親方に相馬産の米やノリなどの特産品や支援金が贈られました。

火の用心呼びかけ 市女性消防隊夏季防火広報

市女性消防隊夏季防火広報

市女性消防隊の夏季防火広報出発式は8月9日、相馬消防署で行われ、各地区の女性消防隊長など11人が参加しました。

出発に先立ち、渡部順子隊長が「市民に火の用心と、連日の暑さによる熱中症対策を呼びかけていきましょう」とあいさつ。

隊員らは、消防署員や市職員らとともに、広報車での市内巡回に加え、大型商業施設で防災啓発品を配布し、火災



予防や熱中症予防を呼びかけました。

収納率の向上に貢献

県知事感謝状贈呈式

県知事感謝状贈呈式は8月6日、市役所で行われ、鈴木博市納税貯蓄組合連合会副会長が出席しました。

式で、岸孝志相双地方振興局長から鈴木副会長に感謝状が手渡され、鈴木副会長は「行政と連携して、国民の三大義務である納税義務の意識高揚のため、組合員みんなががんばったことが認められてありがたいです」と述べました。

